令和７年度　第２回　松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

１．日時
令和 7 年 11 月 4 日（火）9：30～10：35

２．場所
松山市青少年センター3 階　大ホール

３．当日の出席者等
（１）出席委員（17 名）（五十音順、敬称略）
安藤 有紀，池田 秀彦，宇津見 亮子，大原 淑子，實藤 むつみ，竹安　美月，
田中 美紀，友川 礼，中岡 彩，中川 惠津子，中島 康史，二宮 一朗，濱田 由紀，
渕上 悟，村岡 則子，安永 耕造，渡部　梨乃

（２）事務局
井出こども家庭部部長及び事業関係担当課等長並びに担当者

４．傍聴の可否
可（傍聴者 5 名）

５．会議次第
（１）開　会
（２）報告事項
①第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について
②こども計画に関するアンケート調査について
（３）協議事項
①松山市こども計画及び第３期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について
②公設児童クラブの運営体制について
（４）連絡事項
（５）閉　会

６．配布資料
・次第
・委員名簿
・配席図
・資料 1　　第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について
・資料 2　　松山市こども計画に関するアンケートについて
・資料 3　　松山市こども計画及び第 3 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について
・別紙 1　　「第 3 期松山市子ども・子育て支援事業計画」点検・評価シート
・別紙 2　　「松山市こども計画」点検・評価シート
・資料 4　　公設児童クラブの運営体制について

会議録

１．開会

・事務局

それでは、ただ今から、令和 7 年度第 2 回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

本日の会議につきましては、委員総数 20 名のうち、16 名のご出席をいただいており、過半数に達しておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進めさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、松山市こども家庭部長の井出より、ご挨拶を申し上げます。

～井出部長挨拶～

・事務局

それでは、本日は、小助川会長が所用によりご欠席されていますので、松山市子ども・子育て会議条例第５条第３項の規定により、村岡副会長に進行をお願いすることにいたします。

村岡副会長、よろしくお願いいたします。

２．報告事項

・副会長

副会長の村岡です。小助川会長が所用によりご欠席されていますので、代理で務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

（1）第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

・副会長

それでは、次第 2. 報告事項に進みたいと思います。

まず、（１）「第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について」について説明～

・副会長

第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価についての説明でした。

令和 6 年度の評価については、委員の皆さんの評価の平均値を取りまとめ、ホームページで公表しているとのことでした。今の事務局の説明について、何かご質問などがありましたらどうぞ。

～意見・質問なし～

・副会長
　よろしいでしょうか。それでは、次に進めさせていただきます。

（2）松山市こども計画に関するアンケートについて
・副会長
　続いて、(2)「松山市こども計画に関するアンケートについて」、事務局から説明をお願いします。

・事務局
～事務局から、「松山市こども計画に関するアンケートについて」について説明～

・副会長
　こども計画に関するアンケート調査についての説明でした。
　本日は、回答数のみの報告で、分析結果は取りまとまり次第、市ホームページに掲載する予定とのことでした。今の事務局の説明について、何かご質問などがありましたらどうぞ。

・委員 A
　資料を確認すると、18～39 歳の回答率が非常に低いことが分かるのですが、これは、就労している方なのか、学生なのか、政策の分析にもつながると思いますので、そのあたりを市ホームページに公開する際に表記することが可能であればお願いします。

・事務局
　アンケートの中に、学生かどうかを回答いただく項目がありますので、学生なのか、それ以外の方なのかを、分けて公表することは可能です。

・委員 B
　回答数全体に占める回答割合で小学生が 44.4%、中学生 28.7%とのことですが、なぜこんなにも差がでているのでしょうか。これから分析をされるとのことですが、こどもの意見を拾い切れているのか疑問に思いましたので、お聞きします。

・事務局
　令和 6 年度に行ったこども計画策定のアンケートでは、小学生 2,599 件 32.6%、中学生 2,599 件 32.6%でしたので、小学生の回答率は上昇しましたが、中学生の回答率は減少しました。調査方法は、今回も教育委員会を通じてお願いしていますが、そのあたりの原因も含めて分析を行いたいと思います。

・委員 C
　周知方法について、こどもたちがこのアンケートを知ったきっかけはなんなのかと考えたところ、広報誌や学校に通っているこどもたちは学校からなど、様々な方法があると思いますが、そのあたりも分析を行い、より良い周知を行うことで、回答率もあがるのではないかと思います。

・事務局
　ありがとうございます。今後、アンケートを行う際の参考にさせていただきます。

・副会長

よろしいでしょうか。回答率については、どのような周知方法が適切だったか、今後分析をされると思いますので、それらを踏まえて、また今後に向けて検討していただければと思います。

それでは、次に進めさせていただきます。

３．協議事項

（1）松山市こども計画及び第３期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について

・副会長

続いて、次第 3. 協議事項に進みたいと思います。

まず、(1)「松山市こども計画及び第３期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「松山市こども計画及び第３期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法について」について説明～

・副会長

松山市こども計画及び第３期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価方法についての説明でした。委員の皆様からいただいたご意見で、「量の確保」だけでなく「質」についても評価が必要であるということが多くありましたので、それらの意見もふまえて、できるだけこどもたちの声を、そして、市民の声をとりこぼすことがなくということで、それぞれの評価シートの案を提示していただいております。何かご意見などがありましたらどうぞ。

・委員 B

１つの事業に対して、多くの事業者等が関わってくるので、「質」の評価は非常に難しい部分もあると思います。他市町の点検・評価方法も参考になるのではないかと思います。

・事務局

他市町の点検・評価方法も参考にしたいと思います。

・副会長

ありがとうございます。恒常的に検証しながら進めていただければと思います。

それでは、両計画の点検・評価について、事務局から提示のあったとおり決定してよろしいでしょうか。

～委員から異議なし～

・副会長

ありがとうございました。それでは事務局案のとおり決定とさせていただきます。

次に進めさせていただきます。

(2)「公設児童クラブの運営体制について」

・副会長

続いて、(2)「公設児童クラブの運営体制について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「公設児童クラブの運営体制について」について説明～

・副会長

公設児童クラブの運営体制についての説明でした。

本市では、児童クラブの設置主体として、運営委員会への状況などの調査、及び支援員などへのアンケートを実施して、現状や課題などを把握するとともに、今後の持続可能な公設クラブの運営体制の検討を行うとのことでした。具体的な検討の方法や今後の進め方などについては、教育・保育部会で審議するとのことですが、何かご意見などがありましたらどうぞ。

・委員 D

こどもがいるため、児童クラブを利用していますが、毎月納付書で利用料を支払いしています。保護者の負担だけでなく、資料にあるとおり、児童クラブの事務の面での負担も多くあるということが今回の事務局からの説明でよく分かりました。保護者の働き方が多様している中で、仕事も子育ても充実しているような環境作りということが、児童クラブに限らず、必要になってくるのではないのかと思いました。

・委員 E

児童クラブは小学校にすごく密接な関係をもっているため、実際に児童クラブの支援員さんからお話を聞くことがあります。現場で働く支援員さんの声をしっかりきいて、保護者の方との折り合いをつけていく役割を市が担う必要があると考えます。働く意欲があっても、こどもを預けることができなければ、子育てが大変だから仕事を辞めざるを得ないという方も出てくると思います。このアンケートを、今後の運営にしっかりと生かしていただきたいと思います。

また、研修会にも参加し、支援員さんの熱い思いも肌で感じましたので、どういう預かりをすれば、こどもたちが放課後を健やかに充実して過ごせるのかなども一緒に考えていきたいと思いました。

・委員 A

3 点ご検討いただきたいことがあります。

1 点目、公設児童クラブ職員の年齢構成についてです。事務局の説明の中で、60 歳以上が約 4 割を占める状況との説明がありましたが、一方で、20～24 歳のグラフが、令和 2 年度と令和 7 年度を比較すると伸びていることが分かり、ポジティブな面もこのグラフで読み取ることができます。おそらく大学生などの年代だと思われますが、この年代（20～24 歳）の雇用が伸びた要因の分析（市や各クラブで何か工夫や配慮をして伸びたのか？）をしていただき、人材確保のヒントがあれば示していただきたいと思います。

2 点目、保育のニーズを考えれば、学齢期のニーズも同数あるということが想定できると思います。保育については、雇用者が雇っている方の労働に合わせて企業主導型での保育が進んでいます。児童クラブがうまく活用できないせいで、働くことを制限されている実態がないのかということを、企業にヒアリングを行う必要があるのではないかと思います。企業が、児童クラブを利

用する世代のニーズをどう把握しているのか、働き方はどうしているのかなどを聞いてみてはどうかと思います。

3点目、人材不足の中で、退職者の増加が進んでいる理由のひとつが高齢化ということでした。なぜ、児童クラブの職員が続かないのか、スタッフの高齢化以外の要因についても分析をお願いします。また、他市事例の調査において、先駆的な児童クラブ運営が進んでいる自治体においては、多様なニーズに対応してスタッフが疲弊していくのを防ぐために、運営委員会体制の中に児童館や放課後デイサービス、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、校医などの福祉、心理、医療の専門職による後方支援体制を入れていますので、そういった社会資源との連携体制もあわせてお調べいただきたいと思います。

・事務局

ご意見を参考に前向きに取り組んでいきたいと思います。

・委員F

私の妹は、民間の児童クラブにこどもを預けているのですが、その理由は、仕事の就業時間が長かったり、土日勤務があったりするが、そのあたりの融通が効くからとのことでした。公設児童クラブの課題把握のための調査ということですが、民設民営の児童クラブにもヒアリングを行ってはどうかと思いました。

・委員G

先ほど他の委員さんからもありましたが、年齢構成について、20～24歳の公設児童クラブ職員も5年前に比べて増えています。私も児童クラブでアルバイトをしたいと思ったことがあったのですが、実際に支援員のアルバイト募集が少ないなという印象でした。今回、調査を実施するとのことでしたので、高校生や大学生にもヒアリングを行い、児童クラブでのアルバイトの需要が高ければ、今後、そういった世代のアルバイト募集の数も増やしていけば良いのではないかと思いました。

・委員B

国において、幼稚園の預かり保育や保育所については、様々な補助がありますが、それと比較すると、小学生の放課後児童クラブに対する補助が少ないという実情があり、それらが、核となってほしい30代・40代の雇用に影響を与えているのではないかと思います。運営委員会での運営からそれ以外での運営にシフトしようとすると、国などからの補助がなければ、人件費などのこともあるため、高額な利用料を保護者に求めなければ運営することが困難だと思います。

幼稚園は、通常の保育があって、そのあと預かり保育があり、同じ園の中で情報交換をすることができるのですが、児童クラブについては、学校が終わってから別施設になる場合もあり、こどもに携わっている方が別々になることもあると思います。こどもも、それぞれの場所での過ごし方も変わっていると思います。そのあたりの情報交換というのも難しく、熱意があっても続けていくのが困難な方もいるのかなと思いました。

・委員C

検討や進め方は教育・保育部会で審議されるとのことですが、児童クラブだけで解決できる話ではないと考えています。放課後・休日などのこどもたちの居場所をどういう風に考えていくか、放課後デイサービスや児童館などが検討に入らないと今の状況では対応が難しいのではないかと

思います。ぜひ、教育・保育部会でそのあたりも含めて議論していただければと思います。

・委員 H
　１つの運営委員会で、利用者の多様化するニーズにすべて応えるということは、難しいと思います。少子化が進む中、登録児童数は年々増加していますので、早く検討をする必要があるのではないかということは常々思っていますので、よろしくお願いいたします。

・副会長
　それでは、公設児童クラブの運営体制について、事務局の説明のとおり、検討を行うことについてご異議ありませんか。

～委員から異議なし～

・副会長
　ありがとうございました。それでは事務局案のとおり決定とさせていただきます。
　委員の皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえて、検討していきますので、今後も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
　以上で、本日の議事はすべて終了いたしましたが、これまでの議題を通して、改めて質問等はございませんか。
　こどもたちの最善の利益を保障していくためには、皆様の活発なご意見が貴重な資源となりますので、引き続き皆様の継続したご支援とご協力をお願いしたいと思います。また、多様化するこどもたちの育つ環境について、いかに対応していくか、こどもまんなか社会に向けて、こども・若者の意見をとりこぼすことなく、きちんと拾い上げ具現化していくことが大切です。それには行政だけでなく関係機関など地域を含め一体となって取り組んでいくことが求められますので、引き続きよろしくお願いいたします。
　それでは事務局にお返しします。

４．その他

・事務局
　ありがとうございました。
　事務局から、連絡事項としてお知らせがあります。
　次回の会議の開催予定です。次回は１月末頃の開催を予定しています。大変お忙しいところ恐縮ですが、引き続き、よろしくお願いいたします。
　また、本日の会議にご参加いただいた委員は全体で 17 名となりましたので、ご報告させていただきます。

５．閉会

・事務局
　以上をもちまして、「令和７年度　第２回　松山市子ども・子育て会議の全体会」を閉会いたします。
　委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。
　なお、この後、約 10 分間の休憩の後、同じ階の小ホールにて「教育・保育部会」を開催いた

します。なお、今回地域子育て部会の開催はございません。
教育・保育部会の委員の皆さま方は、小ホールへ移動をお願いします。
本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。